

馬込から気持ちのよい風が吹いてくる

萬福寺だより

第30号

2018年夏号／no.30／平成30年7月1日発行

発行／曹洞宗 萬福寺護持会

HP <http://www.manpukuji.or.jp>


境内には涼しげなミスト(霧)が
まかれています

今年のお盆は7月13日(金)
お誘いあわせのうえ お出かけください



お盆
7.13(金)



大施餓鬼
7.23(月)



秋彼岸
9.23(日・祝)

11.5(月) 鬼子母神

イベント

10.2(火)-4(木) 研修旅行

10.8(月・祝) するすみ祭

「お盆」と「施餓鬼会」の 違いをご存知ですか？

慈眼山 萬福寺 住職
安本 由道



お盆の季節に伝えたい大切な縁

「お盆」という言葉を聞くと皆様は何を想像しますか？ 夏休みで故郷へ帰る、またご先祖様のお墓参りなど、昨今、年月の経過と共に変化していますが、お盆は自分と亡き人、今ある両親、兄弟姉妹、親類縁者とのつながりをもっとも強く感じる、一家にとってかけがえのない大切な日なのです。

昔からお盆を迎える行事としては地域にもよりますが、朝顔市、ほおずき市、七夕祭りなどがあげられます。特に七夕祭りは、お盆に帰ってくる祖霊のよりどころとなる旗をたてるタナ（精霊棚）だという説があります。現在でも仏壇から御位牌を精

霊棚に移して安置し、その四方に笹竹を結び短冊（お盆旗）を設ける地方もあります。

現在は精霊棚を別に設けて飾る場所がないご家庭がほとんど

と思われませんが、お盆はご先祖様を偲びその縁に感謝し、子から孫へ代々伝えて行かなければならない大切な供養です。



大施餓鬼会（施食会）卒塔婆供養とは……

「お盆」行事の一つと思われる「施餓鬼」ですが、実は全く別の行事です。お盆は先祖、亡き人を偲びその冥福を祈って供養しますが、施餓鬼はすべての生きとし生けるもの、また三界の万霊、有縁・無縁の霊を供養するとされているのです。

「餓鬼」とは欲望をいましめ、心の大切さ、自分自身に与えられた生命に感謝し、長寿を願う、という意味もあります。人間だけでなく、すべての生命に対する感謝の法要です。「施」すなわち布施の行為は、慈悲

の心を持った人にしか実行できません。これを「菩薩行」と言います。

私たちは感謝の心を忘れていないだろうか。慈悲の心があるだろうか。日々、無為に過ごしていないだろうか——自らの生き方を反省し、慈悲心を持った人々が沢山集まって供養する、これが「大施餓鬼会」です。

限りある人生の中で大切なことは善を積み（良き行いをする）、善（良き行い）の種をまくことです。良きことをすると直ぐに功德が廻ってくるとは限りません。種

を蒔いても実りを得るには時間を要するよう、善果を得るには遅速の違いがあります。とりわけ、先祖・亡き人に対する追善供養は最大の善因とされ、その中に卒塔婆供養があります。

施餓鬼の供養は最高の功德

塔婆供養の功德は、塔婆を建てることによって故人が成仏できるという功德、さらに、供養した人に回向される、とされています。何もなくて良きことがあれば、先祖様の蒔いた種子が実ったと素直に感謝し、我が蒔いた種子は子々孫々にわたり功德がありますようにと願うのが慈悲心です。年に一度の大施餓鬼会では、すべての仏様、生きとし生けるものが供養されます。自らの善行をかたちにした卒塔婆供養、これ以上の功德はない法会なのです。

お盆・大施餓鬼会の意味、読み方や由来は沢山ありますが、昔からご先祖様に感謝し、子孫繁栄を願う供養に変わりはなく、まだまだ説明をするには紙数が足りません。法話の機会に直接お話しさせていただきますので、是非ご来山ください。いますよう心よりお待ち申し上げます。



開催行事報告

春彼岸会法要

はるひがんえ
平成30年3月21日(水・祝) 13時

恒例の落語会から行事が始まりました

桜はすでに咲き始めたものの、あいにくの寒空となった3月21日、午後1時から落語会、2時から春彼岸会法要が営われました。

今年で4回目となる春風亭柳朝師匠の独演会では、古典落語の『源平盛衰記』が披露され、本堂にお集まりいただいた参詣者は、柳朝師匠のテンポの良い語りに魅了されました。

今年度は東日本大震災から7年目を迎えます。大森仏教会の法要や防災講習会に参加された安本由道ご住職は、「防災意識は身近なところから始める、できるということを感じました。日頃から地域の防災訓練にはできるだけ顔を出すようにしましょう。地



『源平盛衰記』と『紙入れ』の2題を熱演する柳朝師匠



次回は11月10日(土) 開催予定

今年度第1回やすらぎの写経会が6月9日(土)午後1時から開催されました。波田野章研修委員長はじめ研修委員の指導のもと、参加33名の方々が「般若心経」を心静かに写経しました。

平成30年6月9日(土)

第1回やすらぎの写経会



境内では温かい「とん汁」が振舞われた

域の皆さんとの交流が大切です。また、身を守るため、緊急時に自分の居場所を知らせる笛や鈴などの食べ物、日頃から持ち歩くようにしましょう。身近なところから始めることが必要です」と話されました。

山門前の駐車場が広くなりました

皆様すでにお気づきのことと思いますが、山門前の駐車場が広くなりました。駐車台数も増えましたが、今後、イベントなどの会場としても利用できます。10月8日開催予定の「するすみ祭」は、ここをメイン会場として開催する予定です。ご参加をお待ちしております。



萬福寺の公式ホームページをご覧ください。

馬込萬福寺

検索

<http://www.manpukuji.or.jp>

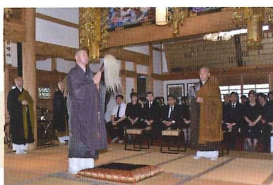
萬福寺の行事はどなたでも参加できます。

INFORMATION

仏事のご案内 ご家族皆様で参加しましょう

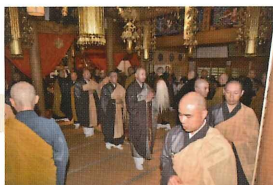
7.13(金) 盂蘭盆会法要
(お盆精霊迎)正午(12時)から新盆法要、午後1時から法話、
2時から法要

ご先祖様の精霊をお迎えにお越しください



7.23(月) 大施餓鬼会法要

午後1時から法話、2時から法要

生きとし生けるすべての生命を慈む、萬福寺
最大の行事です。ぜひ皆様お参りください。

9.23(日・祝) 秋彼岸会法要

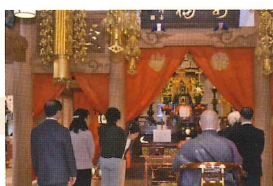
午後1時から心の法話、2時から法要

秋分の日、ご家族お揃いでお出かけください



11.5(月) 鬼子母神祈願法要

午前11時から法要

鬼子母神祈願法要は毎年10月28日に開催
されていましたが、今年は都合により11月5
日(月)とさせていただきます。御葬儀・法要の連絡は
萬福寺本堂総受付まで法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるよう
にと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定
が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備
を始めましょう。

御葬儀・法要・諸行事のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025

※梶原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。

イベントのご案内

10月2日(火)～4日(木)

萬福寺護持会 研修旅行(2泊3日)

住職の故郷へ参詣 (びっくりするほど)
田舎です???)今回の2泊3日の研修旅行では、九州の佐賀県唐津市、
現住職が幼少期に過ごされた故郷のお寺に参詣し、昼食
に呼子の活烏賊、唐津曳山展示場をめぐり、九州一の
ぎやかさを誇る博多中洲へ1泊、翌日は日本三大稲荷のひ
とつ祐徳稲荷や干潟で有名な有明海を見学し、嬉野温
泉にご宿泊致します。別紙ご案内をご参照のうえ、お申し
込みください。

10月8日(月・祝)

するすみ祭

昨年に引き続き、「するすみ祭」チャリティイベントを企
画しています。イベントの詳細は、当山入口の掲示板に
てお知らせいたします。ご家族お誘い合わせのうえ、お越
しください。

※写真は昨年の様子です

編集後記

春のお彼岸も過ぎ、桜の花から若葉になったかと思う間もなく、初夏の
季節となりました。四季の移ろい、時の流れは本当に早いものです。7月はお盆。ご先祖様をお迎えする大事な行事です。続いて、お施餓
鬼もございませう。暑い時期になりますが、ご家族お揃いでお墓参りなど、
お寺にお出かけ下さいますよう、お待ちしております。山門前の駐車場も広くなりました。車でのお寺へのお出かけのお役に
立つことと存じます。また、ご案内のように、秋のお彼岸の後、護持会研修旅行も決まりました。
恒例となりました「するすみ祭」も行われます。各種行事・企画へ
の護持会員の皆様のご参加をお待ち申し上げております。